

令和5年度

下野市

図書館評価報告書

令和6年7月

下野市立図書館

## 目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨 .....	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 令和4年度 図書館月別利用状況報告 .....	4
3. 図書館基本計画（第二次）成果指標 .....	5
4. 総合評価（外部評価） .....	6
5. 図書館協議会委員による意見 .....	7
6. 総評 .....	1 1
7. 図書館協議会委員名簿 .....	1 2
8. 図書館協議会会議の開催 .....	1 2

## 1. はじめに

### (1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入されました。平成29年度からは南河内図書館を含め市内図書館3館全てが指定管理者制度の導入となりました。図書館の市職員と指定管理者がともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

### 図書館評価に関する法令・基準の抜粋

#### ◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### ◎図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)

#### 第二 公立図書館

#### 一 市町村立図書館

#### 1 管理運営

##### (一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

##### (二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

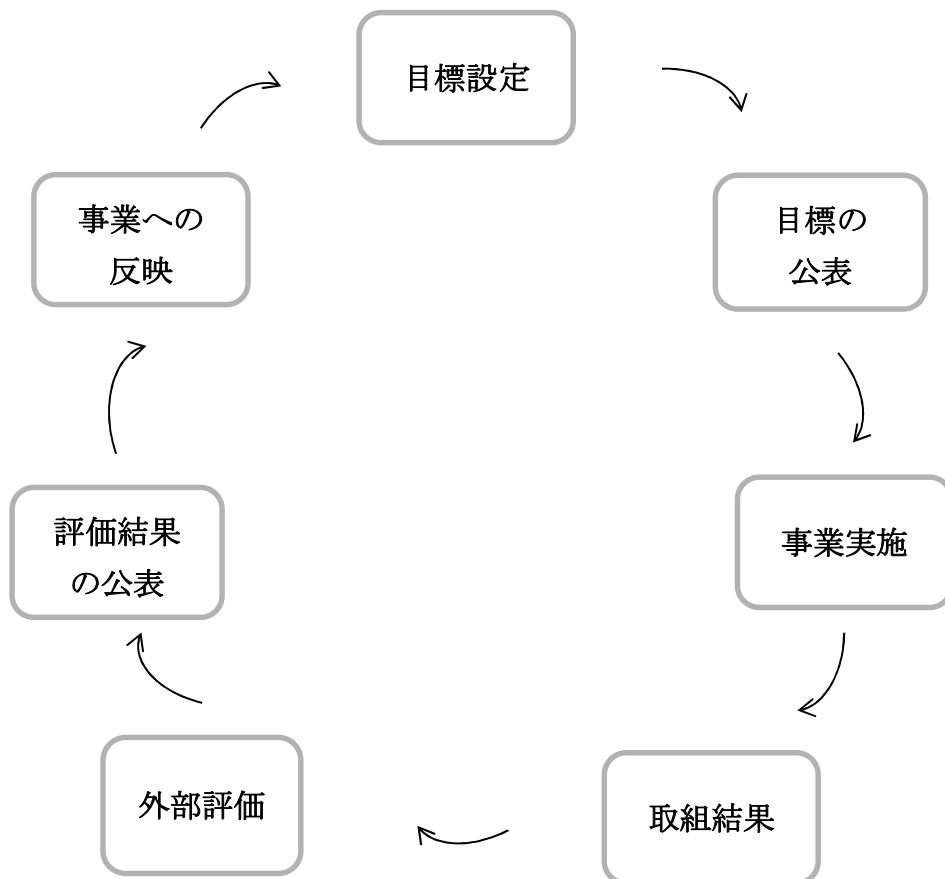
## (2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施し、外部評価をもって総合評価といたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と16の中項目に分類したうえで、36の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし、評価してまいりました。

「取組結果」に応じて《評価基準》の中項目の評価基準によりA～Dを決定し各中項目の評価を決定いたしました。

### 図書館評価のながれ



《評価基準》

小項目＝参考

評 価	評価内容及び基準
A	計画通り事業を実施し、目標水準をはるかに超える成果がある。
B	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、はるかに上回る成果である。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

総合評価（外部評価をもって総合評価とします。）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、はるかに上回る成果である。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

## 2. 令和5年度 図書館月別利用状況報告

R6年3月末現在

月	貸出人数(人)			入館者数(人)			貸出数(冊)		
	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内
4	3,217	2,342	1,772	7,703	5,195	4,034	10,173	10,682	8,127
5	3,135	2,245	1,682	8,088	5,304	3,755	10,582	10,201	7,874
6	3,076	2,110	1,799	7,179	4,902	4,267	9,515	8,935	9,016
7	3,325	2,532	2,070	9,085	5,958	4,818	10,531	10,773	9,441
8	3,706	2,390	2,248	10,845	6,479	5,042	12,048	10,738	10,307
9	3,202	2,354	1,558	8,350	5,606	3,454	10,822	10,975	8,056
上半期	19,661	13,973	11,129	51,250	33,444	25,370	63,671	62,304	52,821
10	3,077	2,417	1,846	7,114	5,467	4,343	9,778	10,968	9,272
11	3,067	1,954	1,974	7,646	4,660	4,437	9,775	8,708	9,613
12	3,089	2,109	1,709	6,455	4,815	3,525	9,505	9,554	7,715
1	3,335	2,240	1,844	7,061	4,794	3,491	10,596	9,843	9,566
2	3,316	2,229	1,756	8,183	5,140	4,240	9,840	9,631	8,709
3	3,383	2,384	1,924	8,351	5,301	4,130	10,074	10,222	8,914
下半期	19,267	13,333	11,053	44,810	30,177	24,166	59,568	58,926	53,789
計	38,928	27,306	22,182	96,060	63,621	49,536	123,239	121,230	106,610
R4年度	37,238	27,330	21,434	87,124	60,254	44,932	124,935	124,548	104,753
対比	105%	100%	103%	110%	106%	110%	99%	97%	102%
合計	88,416			209,217			351,079		

開館日数	307	309	309						
日平均	127	88	72	313	206	160	401	392	345
月平均	3,244	2,276	1,849	8,005	5,302	4,128	10,270	10,103	8,884

※南河内図書館 9月6日～9月12日 蔵書点検の為休館

※石橋図書館 10月3日～10月9日 蔵書点検の為休館

※国分寺図書館 11月15日～11月21日 蔵書点検の為休館

### 3. 図書館基本計画（第二次）成果指標

#### (1) 知識と情報の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	人口一人当たりの 貸出冊数(冊)	5.9	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7.0
	実績		5.3	5.8	5.9	5.9		
2	図書館ホームページへの アクセス数(件)	486,090	505,080	563,340	572,510	581,670	590,840	600,000
	実績		554,179	561,076	573,140	1,277,322		

#### (2) 子どもの読書活動を推進する図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	児童書の個人貸出冊数(冊)	151,873	153,230	154,580	155,940	157,290	158,650	160,000
	実績		141,103	160,434	163,050	163,435		
2	市内各小学校等、関係団体への 団体貸出冊数(冊)	20,137	21,780	23,430	25,070	26,710	28,360	30,000
	実績		16,040	18,341	17,448	18,333		

#### (3) 利用しやすく役立つ図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	レファレンス受付件数(件)	6,393	6,460	6,530	6,600	6,670	6,730	6,800
	実績		5,592	7,570	7,903	8,571		
2	利用者アンケートによる 図書館の満足度(%)	87.0	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90%以上
	実績		90.0	89.0	91.0	90.0		

#### (4) 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	郷土資料の所蔵数(冊)	8,838	9,030	9,230	9,420	9,610	9,810	10,000
	実績		8,960	9,385	9,678	9,980		

#### (5) 市民とともにある図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	講座・講演会等の事業 参加者数(人)	6,153	6,260	6,370	6,480	6,590	6,690	6,800
	実績		4,248	9,936	10,744	13,421		
2	図書館ボランティア 活動人数(人)	118	120	122	124	126	128	130
	実績		113	107	118	123		

## 4. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	石橋図書館	国分寺図書館	南河内図書館
I と知 し て の 情 報 の 館 拠 点	1.市民の要望に応えることができる 多様な蔵書の充実	1.資料の収集と保存	B	B	B
		2.市民ニーズを把握した図書の収集			
	2.ICT等の活用による情報提供の充 実	1.ホームページの活用	B	B	B
		3.サービスの提供の向上	1.インターネットによる調べ物の支援	B	B
	2.より容易で効率的な資料・情報の提供				
II 子 ど も の 読 書 活 動 を 推 進 す る 図 書 館	1.学校との連携による子ども読書活 動の充実	1.学校図書館支援	A	A	A
		2.小学校への読書普及活動の充実			
	2.家庭での読書活動の支援	1.親子で読書を楽しむきっかけづくり	B	B	A
		2.子ども読書活動の促進と普及活動			
		3.図書館情報の周知			
	3.子どもの読書活動推進のための読 書環境等の充実	1.児童書の充実	B	B	B
2.小中学生向けの講座や読書案内の充実					
3.点字絵本やLLブック、外国語図書の収集 ・提供					
4.児童書の貸出冊数、市内各小学校等、 関係団体への団体貸出冊数					
III 利 用 し や す く 役 立 つ 図 書 館	1.柔軟な運営体制の構築	1.図書館評価	B	B	B
		2.民間企業の図書館活動への参加			
	2.利用者の課題解決に役立つ レファレンスサービス機能の充実	1.レファレンスサービス	B	B	B
		2.レファレンス受付件数			
		3.相互貸借			
	3.利用者の要望に応じたサービスの 充実	1.図書館サービスの充実	B	B	B
		2.所蔵資料の活用			
		3.リサイクル			
	4.誰もが利用しやすい図書館 サービスの提供	1.乳幼児・児童サービス	B	B	B
		2.高齢者サービス			
		3.障がい者サービス			
		4.外国人へのサービス			
IV と な 郷 土 の 文 化 史 と 図 書 館 拠 点 か	1.地域情報の収集、保存、提供	1.地域資料・行政資料	B	B	B
		1.郷土資料			
	2.郷土資料の積極的な収集、保存、 提供	2.歴史館・資料館等との連携	B	B	B
	3.地域ゆかりの関係資料				
V 図 市 民 と と も に あ る	1.生涯学習の機会や交流の場の提 供	1.図書館ボランティア	B	B	B
		2.レファレンス室資料の充実			
		3.開かれた図書館			
	2.市民との協働を推進し、市民と ともにある図書館づくりの実現	1.ボランティアの養成と支援	B	B	B
		2.市民協働事業			
	4.利用者への接遇の向上	1.職員の接遇と人材育成	B	B	B



## 5. 図書館協議会委員による意見

### (1) 石橋図書館

- ・石橋図書館の特色である、グリムやドイツ関連資料の充実、「歴史講座」「原爆パネル展」「音訳ボランティア体験講座」などの事業が工夫されて実施されており、素晴らしい。
- ・石橋図書館の特色であるグリム関係の収集が充実しており評価する。常時、所定の場所に位置しており、手に取りたくなる。
- ・石橋公民館及び児童館との連携事業が少しずつ動き始めていることを高く評価し、今後に期待する。
- ・図書館や学校だけでなく石橋児童館とも連携しておはなし会を開催し、活動の幅が広がったのは良かった。石橋児童館とのさらなる連携を期待する。
- ・学校との連携および支援は大変重要であり、いろいろ努力していることを評価する。今後とも継続していただきたい。
- ・「スマホを使った図書館活用講座」は良い取組だと思う。参加者の反応を見て、継続の検討をお願いしたい。
- ・石橋地区に根差した「後世に伝えたい馬市や戦後の暮らし」や「下野学歴史講座」の開催を高く評価したい。
- ・教育支援センタースマイルの生徒の活動の場になっていることはとても良いことだと思う。
- ・国際交流員のコラムは大変楽しく、歴代交流員のコラムの保存もされていることは素晴らしい。

#### <課題>

- ・今後も幹事図書館として、国分寺図書館、南河内図書館と共通の取組や連携したサービスの向上に努めていただきたい。
- ・「原爆パネル展」については、非核平和都市宣言を行った市としてこのことが風化してしまわないように、毎年必ず開催していただきたい。
- ・石橋公民館や大松山運動公園で開催される事業と連携した取組を、今後も工夫して行っていただきたい。

## (2) 国分寺図書館

- ・国分寺図書館の特色である、「医療関係」「YA 向け」関連資料の充実、目標に対しての工夫した丁寧な取組や周知が行われており、素晴らしいと思う。
- ・国分寺図書館の特色である医療関係の蔵書の充実や特集を組んでいることを評価する。ラベル添付により書物が探しやすくなったのも良いと思う。
- ・学校との連携および支援、特に中学校との連携は大変重要で、いろいろ努力していることを評価する。中学生の読書離れに歯止めをかける意味でも、今後に期待する。
- ・「南極クラス」は、新しい企画として面白く有意義だったと思う。実体験をした方の話は聞きごたえがあった。
- ・「予防医学講座」は参加者からも高い評価を受けている。継続して開催していただきたい。
- ・特色ある講座が図書館への関心を高めることに繋がられているのではないかと。今後も興味深い講座が行われることを期待している。
- ・「ポップコンテスト」の定着、参加者の増加は高く評価したい。これからはマンネリ化を防ぐ工夫が必要だと思う。
- ・玄関ロビーのおすすめ本コーナーが複数部門に分かれており、それぞれ目を引くような内容や展示の仕方に工夫が感じられる。また階段壁面も有効活用されている。踊り場の展示板前にソファが置いてあり、掲示物を見たり休憩や読書するのにも一息つけるような場所作りがされている。エレベーター設置が難しいところを十分カバーしていると思う。
- ・地域情報コーナーについて、情報の鮮度という点に留意していることを評価する。

### <課題>

- ・スペース的に、また構造的に困難と伺っているが、全ての市民に開かれた図書館であるためにエレベーターの設置をお願いしたい。
- ・医療関係資料の収集が充実してきていると思うが、利用者は新しい情報を求めているので、常にニーズに合った資料をそろえて欲しい。
- ・レファレンス対応のノウハウについての職員間での共有は大変結構なことなので、引き続き進めていって欲しい。

### (3) 南河内図書館

- ・南河内図書館の特色である、「児童書」関連資料の充実や、乳幼児向け講座、歴史・文学講座の充実が、素晴らしいと思う。
- ・児童書の豊富さは南河内ならではの。分類も工夫があり、季節感も大事にしている。閲覧できる空間もあり居心地が良い。
- ・合併以前から児童サービスが充実していたものが引き継がれ、幼児児童サービスや南河内小中学校との連携を密にした取り組みも素晴らしい。
- ・学校との連携および支援は大変重要であり、いろいろ努力していることを評価する。今後とも続けて行っていただきたい。また、学校への読み聞かせサポート事業は、要望があれば是非引き続き実施して欲しい。上級生として読み聞かせをする立場となることは、児童・生徒にとって非常に有意義だと思う。
- ・学校での読み聞かせ指導をボランティアと共同で行い、生徒が読み聞かせをする様子を教室で見学するという関わりは読書活動に影響が大きいことと思う。
- ・保護者の協力による団体貸出が継続されていることを評価する。
- ・南河内東公民館との連携による出張貸出、小中学校との連携は高く評価したい。
- ・企画展示やイベントのタイトルのつけ方が絶妙で、足を運びたくなる。
- ・地域の特色を活かした「歴史講座」や「郷土資料の企画展」はとても素晴らしい企画であると思う。

#### <課題>

- ・薬師寺に関する講座や講演の継続を希望する。知らないことが多く勉強になった。今年の能楽師・山中一馬氏による講話は時間が短かすぎたように感じた。
- ・特に南河内小中学校とは地の利を生かし、さらなる連携を強く望む。
- ・参考資料などは高価だが新鮮さも大事なので、適切な収集を願う。

#### (4) 全図書館

- ・ 3館共に地域の公共施設との連携を視野に入れた事業を工夫しており、市民が身近に感じる図書館を目指していることを評価する。
- ・ 3館共、常に市民のニーズを受け止め、考え、行動し、内容を充実させ、より良い図書館づくりを目指していると思う。
- ・ ホームページのアクセス数やインターネット予約数は、前年度実績を上回っており順調だと捉える。ホームページの充実や利便性の周知などの取組の成果だと思う。
- ・ 児童書の個人貸出冊数がすでに令和7年度目標値を超えていることは素晴らしいと思う。
- ・ 3館合同の夏休み応援キャンペーンの実施は素晴らしい。これからもニーズの傾向を把握して充実した事業に発展させて欲しい。
- ・ レファレンス受付件数が令和7年度目標値を大きく上回っていることは素晴らしいと思う。利用者アンケートによる図書館満足度も、令和7年度目標をすでに達成していることを高く評価したい。引き続き、利用者の要望に応じたサービスの充実に努めていただきたい。
- ・ 事業参加数は、コロナ禍から脱却しすでに令和7年度の目標値を大きく超えていることは素晴らしいと思う。

##### <課題>

- ・ ホームページやSNSの情報発信は欠かせないものである。高齢者がスムーズに利用できるようにすることが課題である。
- ・ 今後、ますますいろいろな年代の方のパソコン、スマートフォン活用が増えると思う。引き続き、環境整備や案内などのサービスの充実に努めていただきたい。
- ・ パスファインダーの作成と周知はなるべく早期に行って欲しい。それによって図書館をどのように利用するか理解が広がり、「本を借りるところ」だけではない図書館の利用が広がるのではないかと期待できる。
- ・ 芸術や文化の拠点になるような事業が展開され、それに関連する書物や資料を手にする利用者が増えることを期待したい。市民の向学心と心の潤いの場となれば嬉しい。

## 6. 総評

図書館協議会の総合評価（外部評価）において、各図書館とも概ね適正に運営されていると評価します。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、図書館3館では徐々にコロナ禍前のように様々な事業を開催し、学習の機会が提供されました。

石橋図書館では、グリム関連資料や郷土資料の収集に努める他、「スマホを使った図書館活用講座」や、石橋在住の見識者による講座「後世に伝えたい馬市や戦後の暮らし」が開催されました。

国分寺図書館では、医療関連資料やYA（ヤングアダルト・中高生世代）向け資料の収集に努める他、自治医科大学と連携した「自治医大予防医学講座」

（全3回）、元南極観測隊員による調べる学習講座「南極クラス」が開催されました。

南河内図書館では、児童書の積極的な収集に努める他、南河内小中学校吹奏楽部による「ミニコンサート」が開催されました。また、下野薬師寺住職による講座「文学にみる下野薬師寺」（全3回）では能楽師・山中一馬氏による「穴戸」についての講話がありました。

これらの講座等は、幅広い分野の講師や市内在住の方や市内団体との協働により開催されました。3館ともイベントを図書館資料に繋ぐ機会として活用していることは評価でき、市民に親しまれる図書館運営をされていると思います。

なお、日常的にも図書館資料を活用してもらうため、さらなる工夫を求めます。

最後に、読書バリアフリーの推進を図るため、電子書籍の導入について具体的に検討するとともに、市民ニーズを把握の上、図書館サービスの充実、市民によりそう図書館運営を期待します。

## 7. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等	備 考
青木 ムツミ	学識経験者	令和5年度委員
鈴木 秀男	学識経験者	令和6年度委員
鈴木 一恵	学識経験者	
大垣 玉枝	学識経験者	
星野 輝世	石橋図書館ボランティア	令和5年度委員
石井 幸代	石橋図書館ボランティア	令和6年度委員
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア	
松本 有幸	南河内図書館ボランティア	
高木 智子	公募委員	
黒川 厚子	公募委員	令和5年度委員
白石 恵子	公募委員	令和6年度委員
野口 恵美	しば保育園長	令和5年度委員
大橋 珠恵	石橋児童館長	令和6年度委員
高橋 修一	国分寺小学校長	令和5年度委員
齋藤 佳代子	石橋北小学校長	令和6年度委員

## 8. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり会議を開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
令和6年 1月24日(水)	取組結果のプレゼンテーション
令和6年 3月21日(木)	外部評価実施について
令和6年 5月15日(水)	外部評価実施について
令和6年 7月17日(水)	評価結果報告・公表について

